

(3) 第4回長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について

ア 日時

平成29年12月5日(火) 15時～16時40分

イ 主な議題

- ① 長崎大学高度安全実験施設の施設性能について
- ② 地域における理解促進に向けた取組について

ウ 主な意見等

- ・ ソフト面のリスクシナリオの検討については、過去に世界のBSL4等研究施設で起こった事故事例を含めて検討すべき。
- ・ 通常運転時の安全対策としては、安全キャビネットの性能が最も重要であるので、最大限の対策を行っていることを明らかにすること。
- ・ 実験室内でエアロゾルが発生しうる手技は決まっているので、明確に定義して、運用マニュアルに手順を記載すること。
- ・ リスク評価においては、専門家だから気づかない、思い浮かばないようなシナリオもあるかもしれないので、市民の意見に学ぶことも検討すること。
- ・ 侵入防止対策として、建物周辺へのフェンスと監視カメラの設置に加えて、監視センサーと照明をセットとしている事例がある。詳細設計時に侵入防止対策の漏れがないよう、特に留意すること。
- ・ 長崎大学には、BSL4関係者以外にも感染症の専門家がいるので、全学を挙げて市民との交流を進めていると思うが、引き続き地域との連携をお願いしたい。